

オンライン朝会「心のスイッチ」11/15

校長講話

みなさんは、心にスイッチがあることを知っていますか？ テレビのスイッチや電灯のスイッチは、わかりますね。今日は、「心のスイッチ」というお話をします。

私たちの心の中は、外からは見えません。どんなことを思っているのか、どんなことを考えているのか、外からはわかりません。でも、外から見ても分かることもあります。

何だか嬉しそう、とても楽しそう、何か悲しそう、困ったことがあるのかな、そんなふうに、お友達の様子から、感じることもあると思います。お友達の様子を見て、「どうしたの？」と、心配して声をかけてあげたこともあるかと思います。

今、みなさんは、音楽会に向けて、やる気が満点です。「よし、頑張るぞ！」といった気持ちが伝わってきます。それは、心にスイッチが入っている証拠です。みなさんが思っていること、心の中は、そうした態度に表れています。心にスイッチが入っているから、熱心に練習できているとも言えます。

では、どうして、心にスイッチが入ったのでしょうか？ 誰かがスイッチを入れてくれましたか？ そうでは、ありません。心のスイッチは、誰も入れてはくれません。どんなに待っても、自分のスイッチは、自分で入れるしかありません。

みなさんは、自分でスイッチを入れて、今頑張っているのです。とても素晴らしいことです。自信をもって、音楽会でも、その姿を堂々と見せてください。

当日は、緊張するかも知れません。ドキドキして、頭の中が真っ白になってしまうかも知れません。でも、大丈夫です。「よし！やるぞ！」と、スイッチを入れて、練習の成果を出してください。

同じように、他の学年の発表を聞くときも、心のスイッチを入れて、一生懸命聴いて、たくさんのことを学んだり、発見したりしてください。そして、演奏の始めには「がんばれ！」という思いを込めて、演奏の終わりには「よかったよ！」という心を込めて、温かい拍手を送りましょう。

では、音楽会、楽しみにしています。精一杯の演奏を披露してください。